

方向性3 生涯にわたり学び教え合えるしくみづくり

施策3-1 生涯にわたり学び・活躍できる環境の整備

ポイント

- 誰もが生涯にわたって学び続けられることが重要
- 人々がつながる自主的な学習の支援で、地域社会の形成に貢献
- 多様な地域団体との連携を通じて、学び合いの循環を創出
- 学習活動を支援する社会教育人材のつながり構築
- 大人も子どもも学びの主体
- ICTを活用した柔軟な学習環境の整備



1 施策の方向性

- 一人ひとりの学ぶ時期や進路が複線化する人生のマルチステージモデルへと転換が予測される中で、新たな知識やスキルの習得（社会人の学び直し）、ライフステージの変化（就職、結婚、出産、育児、介護、病気、退職など）に応じて生じるさまざまな悩みに関する学びなど生涯学習の必要性が高まっています。
- 区民一人ひとりの生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、人と人のつながりが生まれるような事業や環境を醸成し、地域コミュニティの基盤形成により、すべての人の幸せをめざします。
- 多様な地域団体（青少年健全育成地区委員会、PTA、文化・スポーツ団体、町会・自治会、NPO、民間企業など）の支援・連携を通じて、区民や地域団体が教え学び合う循環の実現をめざします。
- 区民一人ひとりの学習活動の支援を通じて、地域コミュニティの基盤形成を支える担い手ともなる社会教育人材のつながり構築に努めます。
- すべての区民を学習の主体としていくため、大人はもちろんのこと、子どもも重要な主体に据えて、企画・運営する生涯学習・社会教育事業を推進します。
- ICTの活用など時間や空間にとらわれないリアルとオンライン双方の学習機会の充実を図り、学びの選択肢を増やしていきます。
- 生涯学習の場や活動において、子ども、若者、障がい者、外国に由来のある人などを含めた多様な個々を尊重し、認め合う学び合いによる社会的包摂の実現をめざします。

2 施策の成果指標

	項目	基準値	目標値	
		R7	中間 R12	最終 R17
1	現在積極的に学んでいることがある区民の割合	75.5%	77.8%	80%
2	若者向け社会教育事業の企画・運営に携わった延人数	122人	180人	210人

3 施策に連なる事業

NO	001	事業	区民が教え学び合う循環に向けた取組の推進 (生涯学習課、教育総務課、地域教育力推進課、地域振興課、健康推進課、防災危機管理課、地域防災支援課、環境政策課、くらしと観光課)		
内容	<p>区民一人ひとりが、地域で教え学び合える事業・ワークショップなどの場を構築することで、世代を超えた学びの循環が生まれ続ける、持続可能な地域社会をめざします。</p> <p>ジュニアリーダーなどの青少年に対し、青少年委員や青少年健全育成地区委員などの地域の方々と連携し、多世代との交流や多様な体験の機会を提供します。</p> <p>また、区内のボランティア・NPO活動を活性化させるため、「いたばし総合ボランティアセンター」の運営に区が参画します。さらに、生徒期の健康支援リーフレット作成や地域の防犯・防災力強化の取組、板橋区環境教育プログラムを活用した環境教育推進、消費生活向上施策などを通じ、生活習慣や防犯・防災、環境などに関する意識を高め、地域全体の福祉向上に貢献します。</p>				
年度別計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
	<p>①学びiプレイス実施(6か所)</p> <p>②いたばし未来子ども大学実施</p> <p>③板橋グリーンカレッジ実施</p> <p>④ジュニアリーダーの育成、活躍機会の拡大【再掲】</p> <p>⑤地区青健活動実施【再掲】</p> <p>⑥ボランティア・NPO活動の支援</p> <p>⑦生徒期の健康支援リーフレット作成</p> <p>⑧防犯意識啓発事業(安全・安心講習会、犯罪抑止生活安全のつどい)実施</p> <p>⑨防災意識啓発事業(いたばし防災+プロジェクト、防災セミナー講師派遣)実施</p> <p>⑩環境教育推進事業実施</p> <p>⑪消費者教育事業実施</p>				

NO	002	事業	社会教育人材のつながり構築（生涯学習課、長寿社会推進課、生活支援課）		
内容	社会教育に関わる多様な地域人材や団体がつながる事業を身近な地域で開催し、多岐にわたる分野について社会教育関係人材の発掘と育成をめざします。地域人材のニーズや課題を蓄積し整理することにより、適切な場づくり・人材ネットワークの形成を図ります。				
年度別 計画	令和8年度		令和9年度		令和10年度
	①身近な地域での学びあい事業の実施を通じた、地域の社会教育関係人材の発掘と育成 ②シニア世代活動支援プロジェクトの各講座の実施 ③地域福祉コーディネーターの配置		①身近な地域での学びあい事業の実施を通じた、地域の社会教育関係人材の発掘と育成 ②シニア世代活動支援プロジェクトの各講座の実施 ③地域福祉コーディネーターの配置		①身近な地域での学びあい事業の実施を通じた、地域の社会教育関係人材の発掘と育成 ②地域の社会教育人材同士のつながりづくりの交流会などの検討 ③シニア世代活動支援プロジェクトの各講座の実施 ④地域福祉コーディネーターの配置

NO	003	事業	社会教育施設の充実（生涯学習課）		
内容	すべての施設利用者を対象に、社会教育施設のデジタル技術の導入や多目的スペースの整備などを進め、機能充実と利便性向上を図ることで、気軽に利用でき、多様な学びと交流が生まれる地域の学習拠点をめざします。				
年度別 計画	令和8年度		令和9年度		令和10年度
	①成増生涯学習センター長寿命化改修 基本・実施設計完了 ②教育科学館 再整備方針策定		①成増生涯学習センター長寿命化改修 工事着手 ②教育科学館 再整備基本構想策定		①成増生涯学習センター長寿命化改修 工事完了 ②教育科学館 再整備基本計画策定

コラム⑫：まなぼーとフェスティバル ～つどう・むすぶ・まなぶ～

まなぼーとフェスティバルは、まなぼーと（大原・成増生涯学習センター）で活動している学習活動団体が、日頃の学習・活動の成果を発表する場として年に1回（2日間）開催しています。団体同士の交流及び区民のみなさんへの学習・体験の機会を提供する場にもなっています。例年、まなぼーと成増は5月下旬、まなぼーと大原は6月上旬のそれぞれ土日で開催しています。

当日は、様々な分野の団体が参加し、展示やパフォーマンスの発表及び体験教室を通して、団体と区民の皆さんとの交流も活発に行われ、賑わいます。

また、中高生・若者支援スペース（i-youth）の利用者によるバンド演奏や模擬店もあり、子どもから大人まで、幅広い世代の方々との交流も生まれ、喜ばれています。

まなぼーとでは、日頃から団体の活動を体験する機会や活動紹介の掲示などを行っていますが、フェスティバルは多くの団体の活動を一度に知ることができる唯一の機会となります。多くの方のご来場をお待ちしています。



絵手紙を体験する小学生